

Fujitsu Technology and Service Vision

富士通が考える、イノベーションの実現に向けて、
新しいICTが可能にすること

富士通の ビジョン

富士通のビジョンは 「ヒューマンセントリック・インテリジェントソサエティ(HCIS)」

これまでICTは、主にバックオフィスの生産性向上やビジネスプロセスの効率化といった役割を担ってきました。ICT資産が増えることで、複雑化や維持運営コストの肥大化が課題となっている一方で、お客様そして社会のリーダーからは、お客様の商品やビジネスの価値向上、社会問題の解決、人のエンパワーメントといった、ICTに対する新たな期待が非常に多く寄せられています。富士通は「複雑さの解消」によって「イノベーションの基盤」を整備すると同時に、「ICTの新たな役割」に応えていきたいと考えています。

ICTの力によって、人々が可能性を最大限に発揮してイノベーションを創出し、人にやさしい、豊かな社会が形成される。富士通はこれを「ヒューマンセントリック・インテリジェントソサエティ(HCIS)」と表現しています。

HCIS実現に向けて富士通は「人が活動する場でのイノベーション実現」「ビジネス・社会を情報装備」「End-to-Endで全体最適化」の**3つのアクション**が必要だと考えています。それぞれのアクションについて、**8つのコンセプト**を軸にテクノロジーとサービスの開発を進め、お客様に提案してまいります。

富士通は、こうしたコンセプトに沿ったテクノロジー、商品開発に注力するために、事業譲渡や人員削減を含む大胆な経営資源シフトを実行しています。

これまで、利益面で課題事業であった半導体ビジネスについて、事業譲渡とコスト削減を中心とした構造改革を進めています。岩手工場、後工程事業については、譲渡を完了しており、アナログ・マイコン事業については譲渡を合意しています。その他の事業についても、交渉を進めています。

また、欧州事業については、ハードウェアからサービスビジネスへのシフトを進め、それに伴いリストラを含むビジネス体制の改革も行います。事業基盤を立て直し、採算性改善を図ります。また、全社的な人事施策とコスト削減の取り組みとして、早期退職優遇制度による人員削減や営業力強化のためのリソースシフト、また、内製化、効率化による外部へのキャッシュアウト抑制などを進めています。

このように、事業ポートフォリオやコスト構造を見直し、投資対象を明確にすることで、成長のためのアクションを着実に実行し、富士通のビジョンを実現させてまいります。

HCISを実現するための**3つのアクション**と**8つのコンセプト**がお客様や社会にどのような価値をもたらすか、そこで発揮される富士通の強みについてお話しします。

富士通のICTバリュー

富士通が中期的に注力するテクノロジーとサービスを、ビジョンを実現するための**3つのアクション**と**8つのコンセプト**に整理して体系化

ヒューマンセントリック・インテリジェントソサエティ(HCIS)の実現

1. 人が活動する場でのイノベーション実現

- | | | | | | |
|---|----------------------|---|-------------------|---|--------------------|
| 1 | インテグレーション
による価値創造 | 2 | オンデマンド・
エブリシング | 3 | モビリティと
エンパワーメント |
|---|----------------------|---|-------------------|---|--------------------|

2. ビジネス・社会を情報装備

- | | | | |
|---|------------|---|------------------|
| 4 | 情報からの新たな価値 | 5 | セキュリティと
ガバナンス |
|---|------------|---|------------------|

3. End-to-End で全体最適化

- | | | | | | |
|---|-------------------------|---|--------------------|---|--------------------|
| 6 | モダナイズーションから
イノベーションへ | 7 | 統合された
コンピューティング | 8 | ネットワーク・ワイドな
最適化 |
|---|-------------------------|---|--------------------|---|--------------------|

1. 人が活動する場でのイノベーション実現

ICTによってビジネスや生活の現場における人々の判断や行動をより直接的に支援できないかという期待が高まっています。富士通はクラウドサービスとモバイルサービスがフロント(現場)の人々をエンパワーする(=力を与える)鍵を握っていると考えており、「オンデマンド・エブリシング」をコンセプトに、お客様の目的に対応する様々なサービスのスピーディな展開を可能にするクラウドサービスをグローバルに提供できる体制を整えています。また、スマートデバイスの普及とともに、エンドユーザーが

素早く多様なサービスを利用できるモデルがビジネスの世界に浸透してきています。富士通は、企業利用に必要な高度なレベルの認証やセキュリティ機能

を備えたサービスプラットフォームを提供しています。

AR(Augmented Reality: 拡張現実)技術を使った現場保守作業の効率化など先進的なソリューションも開発しており、セールスや医療・看護業務などの現場でも、“その場所・その時”に最適な情報が届けられ、革新的なサービスを受けられる世界を創造していきます。

従来のICTシステムとクラウド、モビリティやビッグデータ活用などの新たなソリューション・サービスを柔軟に組み合わせることが、お客様の価値創出につながります。富士通には、長年培ってきた豊富なシステムインテグレーションの経験と、実現のための方法とテクノロジーがあります。そして何よりも高いスキルを持ち、お客様と一緒にイノベーションを生み出していこうというマインドに溢れたエンジニアとプロフェッショナルを多数擁していることが、一番の強みと考えています。



2. ビジネス・社会を情報装備

人々の活動、ビジネス、社会の変革の鍵を握るのは高度な情報活用です。購買情報や受発注データなどの企業内の情報だけでなく、電子メール、ソーシャルネットワークなど個人の生活の中でも日々情報が大量に発生しています。また、車や家電、社会インフラなどに取り付けられたセンサーから様々な情報を収集することができるようになりました。

こうした情報を分析することによって発見される知見は、人や企業の活動に活かすことができます。富士通は、こうしたビッグデータ活用を支えるクラウドサービスとお客様のサイトに設置して使用していただくソフトウェア・垂直統合システム製品を提供してい

ます。また、データ分析のスペシャリストであるキュレーターによるコンサルティングサービスも提供しています。

スマートデバイスやクラウド、ビッグデータの活用は、ビジネス・社会に新たな価値をもたらしますが、反面、リスクは複雑化し、サイバー攻撃やプライバシー保護の課題にも直面しています。富士通はセキュリティ、ガバナンス、プライバシー保護をトータルに考え、最適なソリューション・サービスを提供していきます。監視センサーやネットワークなどの先進技術を駆使したパブリック・セキュリティソリューションを提供し、安心・安全な社会の実現に努めるとともに、プロアクティブなリスク予測・予見をベースとした「セキュリティ・インテリジェンス」を提供することに力を注いでいきます。



3. End-to-Endで全体最適化

これら全てを実現していくためには、ICTシステム全体の最適化が必要です。

まず、必要とされるのは、既存のICT資産のモダライゼーションによって、維持運営コストを削減し変革・成長に向けたICT投資を実現することです。富士通は「アプリケーション」、「ICT運用」、「ICTインフラ」それぞれの領域で、体系化されたサービスと最新技術に基づく高品質な製品を提供することで、お客様のICT資産の最適化を実現します。

垂直統合は、富士通の強みが最も発揮される点です。高信頼、高性能のハードウェア、ソフトウェア技術とインテグレーションや運用のノウハウが融合・最適化された「Dynamic Integrated Systems」によって、「すぐ使える」俊敏性や、迅速なシステム構築と高度な運用保守性によるトータルコストの低減を実現し、お客様の競争力強化の要望に応えます。

また、ネットワークの広がりによって大量で多様なデータがリアルタイムに処理されるようになると、レスポンス遅延やサービス停止といったリスクが想定されます。これらを回避するために、富士通は、Software Defined Network (SDN)の考えに基づいて、コンピューティングから広域ネットワーク、そしてエンドユーザーが使用するスマートデバイスまで全体の最適化を実現していきます。富士通は創業以来ネットワーク技術開発の経験を重ね、データセンター、企業内ネットワークから広域ネットワークの幅広いノウハウを持っており、この蓄積をフルに活用できると考えています。

HCISを実現するための3つのアクションそれぞれに富士通の強みを活かし、ICTの新たな利活用を提案し、お客様の事業の発展、そして社会の発展に貢献してまいります。



富士通の注力分野

富士通はテクノロジーとサービスの8つのコンセプトに基づいた新しい製品やサービスの投入を加速しています。

モダナイゼーションによって既存のICT資産の維持運営コストを軽減し、イノベーションのための投資を加速するというコンセプトに基づいて、「APM (Application Portfolio Management) モダナイゼーションサービス」を提供しています。富士通は世界初の「ソフトウェア地図」という、アプリケーション資産の問題箇所を一目で特定できる技術などを使って資産のスリム化を支援します。他社のICT資産も含め、モダナイゼーションを実行し、お客様の成長分野への投資を支援します。

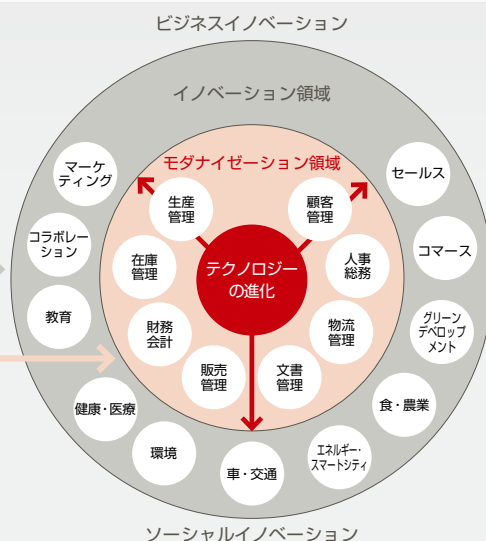
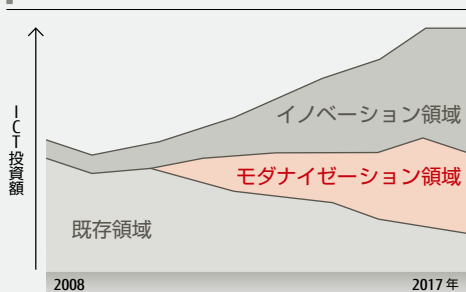
新たなICT活用によるイノベーションを実現する上でのキーテクノロジーがクラウドです。富

士通はクラウドに関する製品・サービス群を「FUJITSU Cloud Initiative」として体系化し、提供しています。堅牢なデータセンターと完全冗長化したインフラに基づく高信頼のクラウドサービスに加え、お客様のセキュリティポリシーに対応したお客様専用型クラウドサービスをラインナップしています。そして、自社製品だけでなく、他社クラウドサービスも含めた最適なクラウドサービスを構築する「クラウドインテグレーター」を2,000名育成し、国内だけでなくグローバルデータセンターによるサービスデリバリー標準化、サービスデスクの展開など、万全なサービス提供体制を構築しています。

富士通の目指すビジネス領域

テクノロジーの進化により、お客様既存ICT資産のモダナイゼーションとその先のイノベーション実現を支援

ICT投資予測



クラウドインテグレーションサービスの概要

クラウド導入

お客様フロント業務効率化・新規ビジネス立ち上げに向けたお客様システムをクラウド最適選択・組み合わせでスピーディに構築

【インフラサービス型】

最適インフラをクラウドサービス組み合わせで提供

【アプリサービス型】

SaaS組み合わせで業務アプリを短期構築

個別UP開発・保守

SaaS（アプリケーションサービス）

■富士通SaaS ■パートナーSaaS

IaaS・PaaS（インフラサービス）

パブリッククラウド

■Trusted Public S5 ■A5 Powered by Windows Azure™ ■RunMyProcess

パートナークラウド

■NIFTY Cloud ■Force.com ■アマゾンウェブサービス

プライベートクラウド

■Private Hosted ■Trusted Public S5専用サービス ■データセンターアウトソーシングサービス

クラウド運用

稼働後運用管理も一貫提供

利用クラウドの統合運用管理をお客様に代わって実施

クラウド運用管理

- 運用マネジメント
- 監視通報
- システムオペレーション
- セキュリティ運用

実社会における人の活動やモノの動きから生まれる情報から新たな価値を生み出すという観点では、センシングデータ、オープンデータ、ソーシャルデータ、異業種間データなどを流通させる外部データ連携「DataPlaza」サービスや、位置情報にSNSなどの情報を重ね合わせ、新たな価値を創出する位置情報活用基盤「SPATIOWL（スペシオウル）」といった、コンバージェンスサービスを展開しています。

さらに、膨大なデータを分析・活用するために、特定の業務知識に依存せずにデータ起点の分析ア

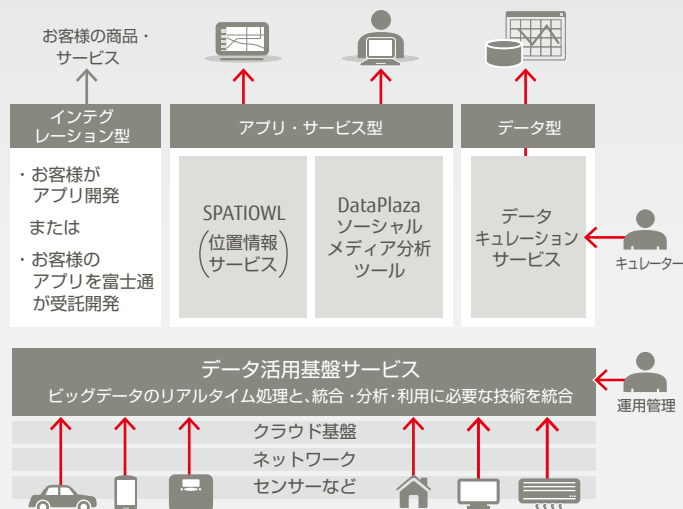
プローチを実践するプロフェッショナル「キュレーター」を100名体制で配置しています。

キュレーターはイノベティブな商品づくりや業務改革に必要となる、データ活用モデルを作成したり、データから課題を見つけます。そして、フィールド・イノベータが、“人・プロセス・IT”の三位一体によるビジネスの変革に向けて、お客様とともに課題解決に取り組み業務改革を実現します。このほか、専門スキルを持ったSE、プラットフォーム技術者、研究員等、800名による専任体制を組んでいます。

このように、ビッグデータビジネスに対してインフラ基盤、サービス、コンサルティングと全てのレイヤで取り組みを強化し、「FUJITSU Big Data Initiative」として体系化しました。将来のコアビジネスに発展させるとともに、お客様のイノベーションを支える、ICTの新しい価値を提供してまいります。

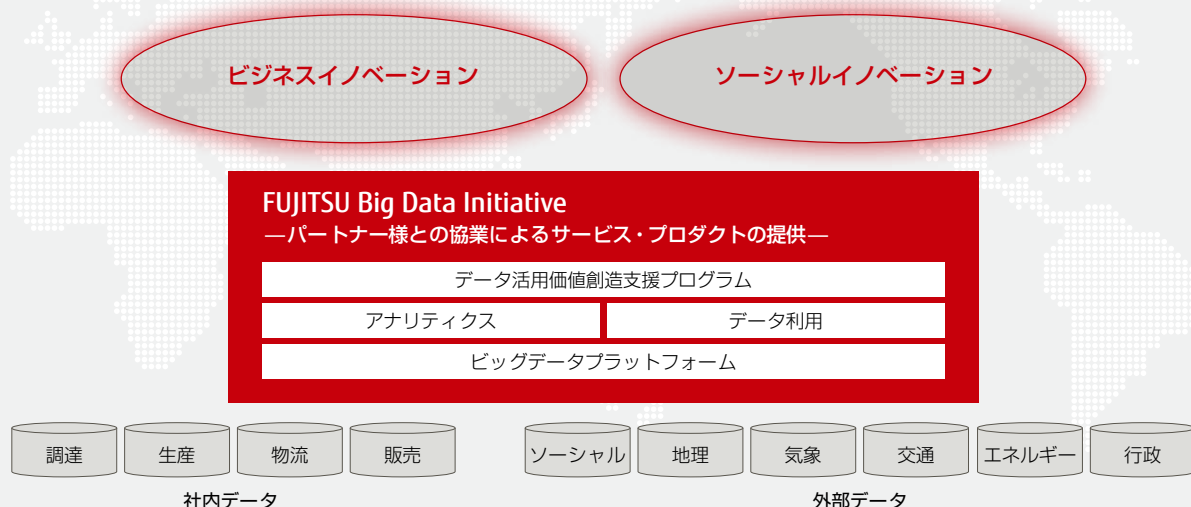
また、スマートデバイスの活用により、お客様の社員一人ひとりや組織全体のパフォーマンスを高めていくという観点からは、マルチキャリア通信環境、認証などのサービスプラットフォームを提供しています。これまでに1万社以上のお客様にご利用いただいているFENICSIIネットワークサービス、FUJITSU Software Interstage Mobile Application Serverなどのミドルウェア、生体認証や盗難対策までをカバーするセキュリティ機能を

クラウド型活用プラットフォーム



FUJITSU Big Data Initiative

最先端テクノロジーと高度な分析力によりデータから新たな価値を創出し、お客様と社会のイノベーションを支える取り組み



備えたパソコンや富士通独自のヒューマンセントリック技術を装備したスマートフォン、タブレット端末まで含め、ワンストップでワークスタイル変革を実現するソリューションを提供しています。

こうしたお客様のイノベーションを実現していくためには、ICTシステム全体の最適化が必要です。富士通は、先端を行く自社ハードウェア技術とソフトウェア技術を活かし、仮想化・クラウド基盤、高速データベース、ビッグデータ活用などの、お客様の様々なサービス業務目的に最適化された「Dynamic Integrated Systems」ファミリー製品を順次提供していきます。第一弾として販売を開始した垂直統合型データベースシステム「FUJITSU Integrated System HA Database Ready」は、設計から運用開始まで従来2カ月半を要していたデータベースシステムを、設置当日から利用可能としました。また、ハードウェアの性能を最大限に引き出すソフトウェアとの組み合わせにより、トランザクション処理能力を最大で従来比20倍まで高めています。

さらに富士通はコンピューティングから広域ネットワーク、そしてエンドユーザーが使用するスマートデバイスまでの全体を最適化する次世代ICT基盤のアーキテクチャーとして、「Fujitsu Intelligent Networking and Computing Architecture」を策定し、お客様に一貫性のとれたソリューションとサービスを提供していく考えです。本アーキテク

チャーは、データセンター、広域ネットワーク、スマートデバイスという、特性の異なる3つのICT領域において、ソフトウェアによるインテリジェントで柔軟な最適制御を実現するものであり、SDNの考え方を、ネットワークだけでなくICT基盤全体に拡張しています。本アーキテクチャーに基づく製品の第一弾として、データセンター向けに、「サーバ・ストレージ・ネットワークリソースの一元管理・制御ソフトウェア」「ネットワーク仮想化対応スイッチ」「仮想アプライアンスプラットフォーム」など新規製品の提供および従来製品の機能強化を行っています。

そして、これらの製品・サービスで市場をリードするために、営業・マーケティング部門へのリソースシフトを進めています。数百名規模の人員を営業部門へシフトし、富士通の多様な製品、サービスの拡販を強力に推し進めてまいります。

HCISのビジョンを具体的な形で実現させることで、富士通のビジネスを国内外で大きく発展させていきます。併せて構造改革、効率化施策を断行し、確実な収益改善を図り、2016年3月期の営業利益目標2,000億円の達成を目指します。

富士通はHCISの実現を通じて、お客様の事業発展と安心・安全な社会づくりに貢献してまいります。

